

オオハンゴンソウを 駆除してください！

近年、東北各地で背が高く
て黄色の花が咲く外来植物
が増えています。
花はきれいですが、実は
やっかいな植物です！



■オオハンゴンソウ？どんな草？

- ✓ 原産地は北アメリカ。明治時代に観賞用として持ち込まれました。
- ✓ キク科の多年生草本。ヒマワリの花を小さくしたような黄色の花を咲かせます。開花期は、7～9月です。
- ✓ 草丈は1mから3mほど（大きいものでは人の背より高くなります！）。
- ✓ 全国に野生化していますが、中部地方以北の寒冷な地域に多く見られます。
- ✓ 土が肥えていて、湿った場所を好みます（湿原や沢沿いなど）。

■花はきれいなのに、なぜ？

- ✓ 繁殖力が強く、条件がよいと急激に拡がり、在来の植物の生育を妨げるなど、地域の生物多様性が失われてしまいます。
- ✓ 爆発的に増え始めると、駆除してもすぐに生えてくるようになります。できるだけ早く駆除しましょう。
- ✓ 人の背丈より高く群生するため、森林の手入れ等の作業が難しくなります。またオオハンゴンソウの駆除作業自体がしにくくなります。
- ✓ 外来生物法で「特定外来生物」に指定されており、栽培や生きたままの植物の運搬は禁止されています。
(⇒罰則があります)



外来生物被害予防 3 原則

入れない・捨てない・拡げない

環境省東北地方環境事務所



▲芽生えの葉 (Aタイプ)



▲芽生えの葉 (Bタイプ)



▲集合果 (種子散布前)



▲掘り起こした根茎

■ 駆除方法

✓ オオハンゴンソウは、種（たね）と根で増えます。種は地面に落ちたあと、数年の間、発芽する力を持っています。したがって駆除のポイントは、以下の二点です。

- ①「新たな種を散布させない」
- ②「根茎を取り除く」

✓ 種ができる前に根ごと掘取り、土を取り除いてその場で乾かし枯らします。その際、根の一部が土の中に残らないようにします。作業は新たな芽が出なくなるまで続けます。

✓ 花が咲く真夏の作業は暑くて大変です。葉で見分けることができるようになれば、早い時期からの駆除がおすすめです（植物が小さいときの方が作業しやすい）。

✓ 根茎がしっかりしており、素手で抜くことは困難なため、スコップや根掘りなどの道具を使いましょう。

✓ 人手が足りないなどの理由で掘取りが難しい場合は、応急措置として鎌（かま）などで刈り払えば繁殖を一時的に遅らせることができます。

✓ 除草剤は効きますが、通常の濃度では根は枯れません。一方で強い濃度の薬剤は同じ所に生える他の植物も枯らしてしまうため、使用には注意が必要です。

✓ 湿原など希少な在来種の生育する場所では、専門家の助言を受けましょう。

✓ 他人の土地で駆除作業をする場合は、無断で立ち入らないよう注意してください。



▲石の上で枯死させる



立木を利用して枯死させる▶

※コンテンツ制作協力 自然観察の会ふくしま

★まずはここから！

- 自分の庭や畑に生えていたら、駆除しましょう！

▶さらに詳しい情報は…

@環境省本省HP 特定外来生物の解説

<https://www.env.go.jp/nature/intro/2outline/list/L-syo-03.html>

▶自力での駆除が困難な場合は、最寄りの市町村役場（自然環境の担当課）にご相談ください。